

特記仕様書

第1章 総則

1. 委託の概要

沖縄県企業局北谷浄水場から排出される浄水発生土に係る収集運搬を委託するものであり、本業務は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（以下「廃掃法」という。）で定める産業廃棄物の収集運搬業の許可を有する者が、法に定められた委託基準に従い行うものとする。

2. 仕様書の適用

この仕様書は令和6年度浄水発生土処理業務委託（北谷浄水場）〈収集運搬〉に適用する。

3. 契約期間

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

4. 収集運搬対象品目

浄水発生土（産業廃棄物の種類：汚泥）

5. 収集運搬場所

排出場所	運搬先
北谷浄水場（北谷町字宮城1-27）	処分業務を受注した受注者の処理施設

6. 予定数量

排出場所	年間排出量(年)	排出量（月）	含水量（R4）
北谷浄水場	1,689t	141t	70.5%

※予定量は入札公告時点での見込量であり、予定数量から増減する可能性があり、確定量ではない。

7. 法令等の遵守

業務の履行に当たり、受注者は廃掃法、道路交通法、労働安全衛生法等の関係法令及び関係自治体の条例や規程等を遵守しなければならない。

8. 提出書類

以下の書類を所定の期限までに1部提出すること。

(1) 契約時に提出する書類

- ① 産業廃棄物収集運搬業の許可証の写し
- ② 運搬車両の自動車検査証の写し
- ③ その他必要な書類

(2) 毎月の請求時に提出する書類

- ① 請求書
- ② 業務完了報告書

9. その他注意事項

- (1) 本業務を処分業者と共同受託した場合にあっては、収集運搬及び処理を行う事業者間で十分に協議し、協力して業務を履行すること。
- (2) 本仕様書に定めのない事項は、受委託者間で協議の上、監督職員が指示する。

第2章 委託内容

1. 業務実施時期

- (1) 本業務は、北谷浄水場に設置されているホッパーに貯留された浄水発生土を運搬するものであり、貯留状況を踏まえ浄水場の職員が搬出の依頼をするので、その依頼に従い対応すること。
- (2) 浄水発生土を積み込み可能な時間は下記のとおりとするが、緊急を要する場合等は、下記に限らず対応を依頼することがある。

排出場所	時間帯	備考
北谷浄水場	8:30～17:15	日曜日、祭日、第2・4土曜日休み

2 収集運搬方法等

- (1) 業務体制の確保について
 - 第1章の6の予定数量を踏まえ、十分に対応できる人員及び運搬車両を確保すること。
- (2) 運搬車両について
 - ① 産業廃棄物の運搬が可能で、かつ搬出先でダンプアップで排出できる仕様の車両とする。
 - ② 第1章の5収集運搬場所に示す敷地、施設建屋内等に車両を進入させ、浄水発生土を落下又は飛散させることなく、搬出・搬入が可能な車両形状であること。車両の種類（幅、高さ等）によっては、浄水場ホッパーで対応できないものもあるため、事前に対応可能か確認すること。
 - ③ 車検証に「積載物は、土砂等以外のものとする。」と明記されている車両（通称「土砂禁ダンプ」）の使用は不可とする。
 - ④ 運搬中に浄水発生土が落下しないよう、側あおりの上に自動開閉シートを取り付ける等の対策を講ずること。
- (3) 浄水場での作業について
 - ① 運搬ごとに車両をホッパーの下に乗り入れ、浄水場職員がホッパーを開閉し、浄水発生土を荷台に落とし込む。その際には、職員と連携をとりながら、受託者において敷均し（しきならし）作業を行うとともに、周囲に発生土の飛散がある場合は、これを片付けること。なお、作業に必要な資材は受託者で用意するものとする。
 - ② 積載に際しては、自動車検査証に記載されている最大積載量以内とし、積載超過にならないようにすること。また、目測にて過積載と疑われるような積載を行わないこと。
- (4) 数量の確認について

搬出数量は、処分業務受注者の計量器（トラックスケール等）により計量した数量とする。計量値は計量器付属のプリンターにより伝票へ印字し、備考欄に計量値を記入した産業廃棄物管理票とともに返送すること。
- (5) 受入先での作業について

受入先に到着したら、施設職員に指示された受入槽に浄水発生土を下ろすこと。